

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：大平・田中・松本

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予算額	643,062	455,085	187,977

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額						
1 パスモ2022年度(早期)施策	196,139						
(1) 事業目的・内容							
【事業目的】 ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修							
【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、2022年度(早期)は以下の項目について対応を予定しております。 これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な施策項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい者用PASMO</td> <td>障害をお持ちの方を対象としたPASMOを発行します。</td> </tr> <tr> <td>オフピーク定期券</td> <td>平日のピーク時間帯に利用できないオフピーク定期券に対応します。</td> </tr> </tbody> </table>		主な施策項目	内容	障がい者用PASMO	障害をお持ちの方を対象としたPASMOを発行します。	オフピーク定期券	平日のピーク時間帯に利用できないオフピーク定期券に対応します。
主な施策項目	内容						
障がい者用PASMO	障害をお持ちの方を対象としたPASMOを発行します。						
オフピーク定期券	平日のピーク時間帯に利用できないオフピーク定期券に対応します。						
【作業完了予定】 令和4年上期							
(2) 前年度から変更・見直した点 なし							
(3) 根拠法令・規程、現場の意見等 なし							
(4) 除却資産の有無	(5) 補助対象の有無						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：大平・田中・松本

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額								
2 パスモ2022年度(年度末)施策	278,211								
(1) 事業目的・内容									
【事業目的】 ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修									
【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、2022年度(年度末)は以下の項目について対応する予定をしております。 これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。									
<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">主な施策項目</th> <th style="text-align: center;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期券発売範囲拡大</td> <td>ST線の開業等に伴い連絡定期券の発売範囲を拡大します。</td> </tr> <tr> <td>運賃改定</td> <td>運賃改定を実施します。</td> </tr> <tr> <td>インボイス制度対応</td> <td>令和5年10月から導入される適格請求書等保存方式(インボイス制度)に対応します。</td> </tr> </tbody> </table>	主な施策項目	内容	定期券発売範囲拡大	ST線の開業等に伴い連絡定期券の発売範囲を拡大します。	運賃改定	運賃改定を実施します。	インボイス制度対応	令和5年10月から導入される適格請求書等保存方式(インボイス制度)に対応します。	
主な施策項目	内容								
定期券発売範囲拡大	ST線の開業等に伴い連絡定期券の発売範囲を拡大します。								
運賃改定	運賃改定を実施します。								
インボイス制度対応	令和5年10月から導入される適格請求書等保存方式(インボイス制度)に対応します。								
【作業完了予定】 令和5年3月									
(2) 前年度から変更・見直した点 改修内容の変更									
(3) 根拠法令・規程、現場の意見等 なし									
(4) 除却資産の有無	(5) 補助対象の有無								
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
3 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの支払契約	30,340
(1) 事業目的・内容	
【事業目的】 自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持	
【内容】 首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要な自動改札機のソフトウェアに対し毎年行う改修について、機器設置台数分の利用許諾料を支出します。	
【機器設置台数】 自動改札機 231台(模擬環境用の2台除く)	
(2) 前年度から変更・見直した点 設置台数の増(+7台)	
(3) 根拠法令・規程、現場の意見等 なし	
(4) 除却資産の有無	(5) 補助対象の有無
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：大平・田中・松本

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
4 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの追加契約	4,678
(1) 事業目的・内容 【事業目的】 自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持 【内容】 首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要となる自動改札機のソフトウェアに対し、新横浜駅3口の新規開業に伴い新規追加となる改札機台数分(7台)の利用許諾料(基本契約および追加契約分)を支出します。 【対象台数】 自動改札機 7台 (2) 前年度から変更・見直した点 (3) 根拠法令・規程、現場の意見等 なし (4) 除却資産の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (5) 補助対象の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
5 多目的デジタル案内板増設作業委託(新横浜駅3口)	
(1) 事業目的・内容 【事業目的】 ・お客様の利便性向上 ・お客様への情報提供 ・駅係員の案内業務軽減 【内容】 多目的デジタル案内板は、市営交通の運行状況などをお客様にわかりやすく伝達する機器(デジタルサイネージ)です。令和4年度は新横浜駅3口の開業に伴い、新改札口に1台増設します。 (2) 前年度から変更・見直した点 (3) 根拠法令・規程、現場の意見等 なし (4) 除却資産の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (5) 補助対象の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：大平・田中・松本

(単位:千円)	
【事業内容】	4年度予算額
6 事務改善システム仕様変更業務委託	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 事務の効率化</p> <p>【内容】 人事給与・旅費管理・財務会計のシステムにおいて、制度改正等の改修を実施します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

(単位:千円)																						
【事業内容】	4年度予算額																					
7 事務改善システム機器更新業務委託																						
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 耐用年数を超える機器の更新</p> <p>【内容】 人事給与・旅費管理・財務会計のシステム機器の使用年数が6年を超えるため、更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">3年度予算</th> <th style="text-align: center;">4年度予算</th> <th style="text-align: center;">5年度予定</th> <th style="text-align: center;">6年度予定</th> <th style="text-align: center;">7年度以降</th> <th style="text-align: center;">総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="background-color: black;"></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">債務負担設定</td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> </tbody> </table>			3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額	事業費							債務負担設定						
	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額																
事業費																						
債務負担設定																						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：人事課 担当者名：小泉

(単位：千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予算額		0	

(単位：千円)

【事業内容】	4年度予算額
<p>1 給与明細封入器の購入</p> <p>(1 事業目的・内容) 現在使用中の機器については平成25年度に購入し、耐用年数である5年を過ぎている状況にあります。関連部品の手配が既に難しくなっているとの情報をメーカーから得ている点を踏まえつつ、毎月の給与支払い事務を滞りなく進める必要があることから機器更新を行います。</p> <p>※自動車事業会計との合算による執行を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：高澤、柴田

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予算額		400	

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
1 広告管理システム改修費用	
<p>(1 事業目的・内容) 広告管理システムについて、現在標準ブラウザとしているInternet Explorerが令和4年6月16日にサポート終了することから、総務局ICT基盤管理課の定めるネットワーク方針に基づき、標準ブラウザをEdgeに切り替える改修を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 標準ブラウザ切替のための単独改修</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) YCANIにおける標準ブラウザの切替え及びそれに伴う業務システム対応について(依頼) 総 I 第296号文書(令和3年6月18日)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：安全教育センター 担当者名：戸田、仁田尾

(単位：千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予算額		23,760	

(単位：千円)

【事業内容】	4年度予算額
1 安全教育教材	
(1 事業目的・内容) <p>安全運行を担う人材の育成の場である安全教育をさらに充実させるため、交通局の重大事故やその関係者の証言等をもとにした研修教材を新たに作成します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無)	
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：村川

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予算額		5,800	

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
1 クレジット決済システム改修費(ルータ新設)	
(1 事業目的・内容)	
<p>クレジット決済システムのバックアップ回線で使用している通信サービスが終了するため、新たな通信サービスに切り替えを行うとともに、新たにバックアップ回線用のルーターを新設します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 駅務管理所 担当者名： 弓野

(単位：千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予算額		2,742	

(単位：千円)

【事業内容】	4年度予算額
<p>1 ワイヤレスマイク更新</p> <p>(1 事業目的・内容) 旅客案内用にコンコース及びホームで使用するワイヤレスマイクを購入します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		4,048,155	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
1 10000形1次車列車無線スプリアス対策ほか	440

(1) 事業目的・内容

列車無線装置は乗務員室に搭載されており、車両、司令所間の連絡や非常発報等の機能を備える重要な保安通信設備です。車両のアンテナから送信される電波には列車無線としての機能を果たすうえで不要な周波数成分(スプリアス)が含まれます。これは、電波障害の原因となるため、無線設備規則で許容値が定められています。しかし、平成17年に無線設備規則が改正され、10000形1次車に搭載されている旧規格値の列車無線装置は、令和4年11月30日をもって使用できなくなります。(2次車は対応済みです。)

10000形1次車の列車無線装置を新スプリアス規格に対応させるため、当該部品の改修が必要となります。また、1次車の列車無線装置は平成30年で製造から10年以上が経過し電子部品の劣化が進行しています。平成30年度から機器のオーバーホールを実施するとメーカーの推奨する交換周期(最長15年)以内に全15編成の更新が終了することから、機器のオーバーホールも合わせて実施し、コスト削減と故障のリスクの低減を図ります。

更新計画<5か年契約の5年目>

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
数 量	3編成	4編成	4編成	4編成	0編成	15編成
改修費	22,320	38,784	25,248	25,248	400	112,000
脱着費	1,092	608	—	—	—	1,700
消費税	8%	10%	10%	10%	10%	
	1,874	3,939	2,525	2,525	40	10,903
合 計	25,286	43,331	27,773	27,773	440	124,603
備 考		予備品含む			免許更新のみ	

(2) 前年度から変更・見直した点

なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

・無線設備規則 第7条
上記規則により、使用できる周波数帯が制限されるため、変更が必須。

(4) 除却資産の有無

有
 無

(5) 補助対象の有無

有
 無

(6) 年次表

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	27,773	440				28,213
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
2 3000R形車両電気品更新	436,742

(1 事業目的・内容)

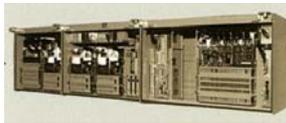
3000R形車両は製造から14年以上が経過しており、主要装置に使われている電子部品等の経年劣化が生じる時期に来ていることから、装置の更新により、車両走行の安全性を維持します。

【更新計画】

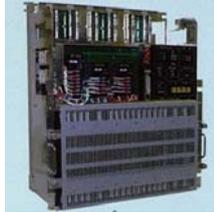
令和元～4年度の重要部・全般検査の入場工程に合わせて、下記①～④の装置の更新を行います。
ただし、初編成については先行して令和元年度に入場工程外で更新します。

<4か年契約の4年目>

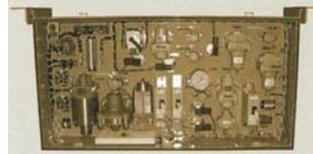
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
数 量	1編成	2編成	5編成	6編成+予備品	14編成



ATC装置



YTM装置



ブレーキ装置



運転状況記録装置

【更新機器】

- ①ATC装置
- ②YTM装置
- ③ブレーキ装置
- ④運転状況記録装置

(2 前年度から変更・見直した点)
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
車両安全確保のため
現場の意見

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	312,583	436,742				749,325
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
3 3000NRS形運転台継電器盤更新	10,965

(1 事業目的・内容)

車両の安全運行に欠かせない、運転台の継電器類(運転台継電器盤)について更新します。

【更新計画】

令和元年度～令和4年度の4か年で装置の更新を行います。

この4か年の中で、重要部・全般検査が予定されている編成については、入場工程内で更新します。

<4か年契約の4年目>

項目	元年度	2年度	3年度	4年度	合計
数 量	1編成+予備品1台	11編成+予備品4台	10編成	6編成	28編成+予備品5台

(更新対象車両:3000NRS形車両28編成+予備品5台)



運転台継電器盤設置場所



運転台継電器盤(設置状態)

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

車両安全確保のため
現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	18,275	10,965				29,240
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
4 10000形機器更新	205,708

(1) 事業目的・内容

①劣化対策

10000形1次車は平成20年の竣工から10年が経過しており、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新は必須となります。

②6両化準備対応

令和4年度からの10000形車両6両化において、増備する中間車両に搭載する機器の中には、現在車両に搭載されている機器と編成内で混在できない物があります。そのため、あらかじめ本事業で既存車の機器を、増備する予定の中間車と同一の物に更新しておく必要があります。

③バリアフリー対応

平成30年3月に、公共交通機関を利用する高齢者や障害者等の利便性、快適性に配慮する場合の施設、車両等の整備のあり方を示した“公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン(バリアフリー整備ガイドライン)”が改訂されました。新しいガイドラインに沿ったバリアフリー対応によるお客様満足度向上を目的として、電気品及び内装品の改修を行います。

④インバウンド対応

インバウンド対応として、車内案内表示器の表示内容のうち駅ナンバーや他社線記号の追加、英語表記の見直し等を見直します。

⑤更新計画<6ヶ年契約>

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1次車 (VVVF,SIV,ATC/O,ブレーキ,ITV)	発注のみ	9編成	6編成			
1次車 (YTM,車内・車外案内表示装置)		2編成	4編成	3編成	2編成	4編成
2次車 ITV・主幹制御器			1編成	1編成		
予備品購入		一式				

⑥主な更新機器

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・SIV(補助電源装置)
- ・ATO(自動列車運転装置)
- ・ブレーキ電気品
- ・ATC(自動列車制御装置)
- ・YTM(列車制御管理装置)
- ・車内案内表示装置
- ・車外案内表示装置
- ・ITV(対列車画像伝送装置)

(2) 前年度から変更・見直した点

なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

竣工から10年が経過しており、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため更新が必要です。6両化準備として、必要な機器の更新も含まれます。
公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン

(4) 除却資産の有無)

有
 無

(5) 補助対象の有無)

有
 無

(6) 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	1,709,363	205,708	141,225	216,121		2,272,417
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
5 グリーンライン混雑緩和策(6両化)中間増備車の製造	2,078,364

(1 事業目的・内容)

- ◇グリーンライン現状 :沿線の人口定着が進んでいることなどから乗車人員が年々増加し、混雑率も増加
令和元年11月:最大163%、日吉本町～日吉間の混雑が激しい
令和2年11月:最大109%
- ◇実施内容 :現在4両編成のグリーンライン10000形車両17編成のうち10編成を6両編成にします。
- ◇今後の見通し :新型コロナウイルス感染症の影響により計画当初より乗車率は低下していますが、将来的な乗車人員の回復に備えるとともに、沿線の街づくりの観点からも引き続き事業を継続します。

年度	H30	H31・R元	R2	R3	R4	R5	R6	合計
車両増備	基本設計	発注	車両設計	車両製造	3編成	3編成	4編成	10編成
					6両化	6両化	6両化	6両化

(2 前年度から変更・見直した点)

予算要求額を契約額ベースに変更。設計変更予定金額を含む。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成12年8月1日 運輸政策審議会答申第19号 Ⅲ 今後の鉄道整備の支援方策のあり方
・大都市圏における都市鉄道のすべての区間のそれぞれの混雑率を150%以内とします。ただし、東京圏については、当面、主要区間の平均混雑率を全体として150%以内とするとともに、すべての区間のそれぞれの混雑率を180%以内とすることを目指します。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費		2,078,364	1,606,210	2,180,723		5,865,297
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
6 グリーンライン混雑緩和策(6両化)車両管理システム更新	10,511

(1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置してあります車両管理システムは、グリーンライン車両の検査計画の作成、検査データの収集、検査記録表の出力、車両図面のデータ管理等多岐にわたり使用しており、検修区日常業務及びグリーンラインの日々の運行に非常に重要な役割を果たしております。本システムは、グリーンライン開業時から使用しており、コンピュータ(サーバークライアント)システムで24時間稼働しているため、機器の劣化が進んでおり故障頻度も多くなっております。また、保守対応期間も令和2年までとなっており、これ以降は修理が不可能となります。さらにグリーンラインは6両化工事が決定しておりますので、本システムも6両化に対応するため改修が必要となります。そこで機器の更新時期とも重なりますので、本システムの全面更新を行います。



車両管理システム(川和検修区事務室)

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

故障頻度の上昇による更新希望が現場からあがっております。また、グリーンライン6両化に伴う改良が必須となります。

(4 除却資産の有無)

<input checked="" type="checkbox"/> 有	2007-20-01879	2007-20-01964
<input type="checkbox"/> 無	2007-20-01901	2007-20-02021
	2007-20-01902	2007-20-02022
	2007-20-01903	2007-20-02023
	2007-20-01904	2007-20-02024
	2007-20-01905	2013-20-00791
	2007-20-01942	

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	56,624	10,511				67,135
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
7 ブルーライン4000形車両の導入	6,314,855

(1 事業目的・内容)

- ・3000A形車両は平成4年度に製造しました。(全8編成)
 - ・H28年度末で、製造から約24年が経過し、車体や主要電気品が劣化傾向にあります。
 - ・車体については、屋根部のスポット溶接の亀裂や車内床面の内部素材の経年劣化など大規模な改修が必要です。
 - ・電気品は、経年劣化による故障件数が増加してきており、車両故障による営業線の運休など、車両運行に影響を及ぼしています。
 - ・電気品は随時改修することで故障抑制を行ってきましたが、抜本的な対策が必要な時期となっています。
- 3000A形車両を代替する新造車両を製造します。**

年度		H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	R5
3000V形	施工予定	1編成							
		電気品発注							
4000形	施工予定			車体発注	設計・製造		1編成	5編成	2編成※
3000A形 廃車	廃車予定							4編成	4編成

※ 車両運用本数を確保するため、追加で1編成を製造します

		従前	V形 投入	事故後 (R元. 9)	ダイヤ改正 (R2. 1)	将来	
総編成数		37編成	38編成	36編成	36編成	36編成	
内 訳	A形	8	8	8	8	0	→ A形代替
	V形	-	1	1	1	1	
	他形式	29	29	27	27	27	→ 事故車代
	4000形	-	-	-	-	7 1	
運用本数		34	34	34	33	33	
入場予備		1	1	1	1	1	
予備車		2	2	1	2	2	

(2 前年度から変更・見直した点)

設計変更に伴う事業費修正

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有 固定資産番号:1992-20-00401~00448
□ 無

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	1,643,694	6,314,855	3,050,808			11,009,357
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
8 3000NRS形画像転送装置ミリ波受信装置更新	45,221

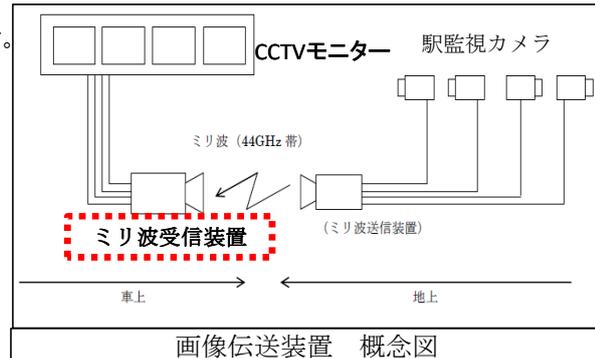
(1 事業目的・内容)

画像伝送装置は、運転士の扉開閉操作に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム画像を乗務員室に設置されたCCTVモニターに表示するシステムです。乗務員の扉開閉操作時における安全確認のために常に安定した性能・動作を求められる重要なシステムです。画像伝送装置を導入してから約10年が経過し、電子機器部品の劣化が進行する時期となったため改修するものです。

※ミリ波受信装置の製造メーカーの推奨交換周期(10年)

【更新計画】

令和2～5年度の4か年で装置の更新を行います。



<4か年契約の3年目>

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
数 量	1編成	6編成+予備品	10編成	10編成	28編成

(更新対象車両:3000NRS形車両27編成+予備品1編成(令和3年度納品))

(2 前年度から変更・見直した点)
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
車両安全確保のため
現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	33,540	45,221	45,221			123,982
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
9 3000N形車両電気品更新	0

(1) 事業目的・内容

3000N形は、1998年に7編成(42両)が製造され、現在6編成(1編成は踊場駅構内衝突事故により廃車)が運用されています。当該車両は2023年で製造から25年経過するため、当初、車両の新造又は大規模改修をR7年度から計画していましたが、当局の経営状況等を踏まえ、主要電機機器の更新を主体とした更新に方針変更しR4年度から実施するものです。

①工程

年度		R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
3000N形	当初計画					新造 (3編成)	新造 (3編成)
	更新		契約	更新 (3編成)	更新 (3編成)		

②更新範囲 (予定)

- ・ATC(自動列車制御装置) ・ATO(自動列車運転装置)
- ・VVVF(主回路制御装置) ・SIV(補助電源装置) ・ブレーキ電気品 ・空調装置
- ・IR(列車無線装置) ・列車モニタ ・案内表示装置 ・放送設備
- ・その他

(2) 前年度から変更・見直した点

新規

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため
- ・更新とすることで至近の費用支出を抑制するため

(4) 除却資産の有無)

 有
 無

(5) 補助対象の有無)

 有
 無

(6) 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：鈴木・柏

(単位：千円)

【事業内容】	4年度予算
10 ブルーラインATOプログラム改修委託	
<p>(1 事業目的・内容) 過年度に実施した信号更新工事により、信号コードが変更されて一部区間の最高速度が上がっています。現行のランカーブ(運転曲線)を見直すことによりブルーラインの速達性の向上を図るため、ブルーラインのATO走行をプログラムの改修を行い、実車による走行試験及び全車水平展開を行います。 併せて、軌道修繕費用縮減のために検討されている関内～伊勢佐木長者町間の抑速についても実施を検討します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	5,404,967	4,659,455	745,512

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

1 高圧配電線更新工事

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

高圧配電線(ケーブル)は、当局の付帯変電所から、各駅の電気室へ電気を供給するための電力ケーブルです。更新中の高圧配電線は敷設・運用から、44年が経過しており、ケーブルの信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、更新計画に基づき更新を実施します。

【課題】

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また高圧配電線の切替時には、電気を供給している駅に影響を与えないよう慎重に切替を実施し、安全に工事を進捗させ、完成させます。

★更新計画

区 間	巨長	設置	経過年数	R3	R4	R5	R6	R7	R8
舞岡S/S～戸塚E/R(上り)	1400	1977	44	●	●				
関内S/S～伊勢佐木長者町E/R(上り)	700	1997	24	●	●				
舞岡S/S～戸塚E/R(下り)	1400	1977	44	●	●				
片倉S/S～横浜E/R	9000	1984	37			●	●	●	●
片倉S/S～新横浜S/S	6000	1984	37			●	●	●	●
舞岡S/S～上永谷E/R	4400	1984	37						●

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 1986-20-00111
- 無 1976-20-00120

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	70,946					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目 款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	担当 所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・藪崎・金井
---	----------------------------------

(単位:千円)

【事業内容】 2 弘明寺駅電気室更新工事(実施設計)	4年度予算額
---	--------

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための実施設計について、設計を委託します。

弘明寺駅電気室は、昭和47年の開業以来、49年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限(令和8年度末)までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。
このことから弘明寺駅電気室について、機器更新のための実施設計を委託します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
弘明寺駅	1972	49	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●

- 基本設計 ●-----●
- 実施設計 ●-----●
- 工事 ●-----●



弘明寺駅電気室のPCB含有変圧器

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

PCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限(令和8年度末)までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	12,705					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
4 笹下変電所機器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

笹下変電所は1977年製であり、製造から45年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム等の改修も併せて実施します。

【課題】

・整流器用遮断器が1台故障中であり、修理不可のため片系運用している。

【検討事項】

更新工事に当たっては、方法を検討することで、費用の削減を図ります。



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実施設計		契約・機器製作	機器製作・工事	工事
笹下変電所機器更新					
笹下変電所電線路改修工事					
笹下変電所電力管理システム変更					

(2 前年度から変更・見直した点)

発注年度を令和3年度から令和4年度に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 1977-20-00043、1977-20-00072、1992-20-00047
 無 1993-20-00148、1999-20-00042、1999-20-00068
 1999-20-00265、2001-20-00260、2001-20-00421
 2009-20-00287、2009-20-00288、2009-20-00289
 2009-20-00304、2009-20-00327、2009-20-00343
 2009-20-00365、2014-20-00090、2018-20-00321
 1995-20-00161、1999-20-00011

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・藪崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
5 茅ヶ崎変電所更新工事(基本・実施設計)	

(1 事業目的・内容)

茅ヶ崎変電所の機器を更新するための基本設計及び実施設計を委託します。
茅ヶ崎変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えており、更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しを検討する必要があるため、基本計画について、基本・実施設計を委託します。



66kV 特別高圧受電設備



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			基本設計・実施設計	
茅ヶ崎変電所機器更新工事		●—————●		

(2 前年度から変更・見直した点)
新規案件

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
6 電力管理システム更新工事	444,300

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができます。
各変電所には上記を行う為、遠方監視制御装置が設置されていますが、生産終了、保守終了となったものが多くあるため、電力管理システム全体での更新を行います。

更新の際は電力管理システムと設備管理システム(注1)の統合を行います。
システムの統合により、装置の削減ができるため、機器導入費、保守費の削減につながります。

更新予定の電力管理システムは光IP方式となっており、中央処理装置と変電所を結んでいる既設のメタルケーブルでは更新ができないため、元年度に光ファイバケーブルの敷設を行い、2年度以降に機器更新を行います。
光ファイバケーブルを敷設することにより、処理できるデータが増えるため、各変電所にカメラを設置し、中央司令所にて監視をします。

(注1)設備管理システムは駅の機器状態、故障情報、電力量データを収集し、それぞれ状態表示機器の操作をすることができます。

【事業計画】

作業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	光ケーブル敷設			
光ケーブル布設(契約済み)	電力管理システム更新			
機器製作		●————●		
司令所機器更新			●————●	
変電所機器更新			●————●	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 1984-20-00443、1984-20-00444、1984-20-00445
 無 1992-20-00921、2002-20-00234、2002-20-00235
 2002-20-00236、2002-20-00237、2002-20-00238
 2003-20-00219、2003-20-00220、2005-20-00473
 2005-20-00474、2005-20-00475、2005-20-00476
 2005-20-00477、2005-20-00478

- 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	354,200	444,300				798,500
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

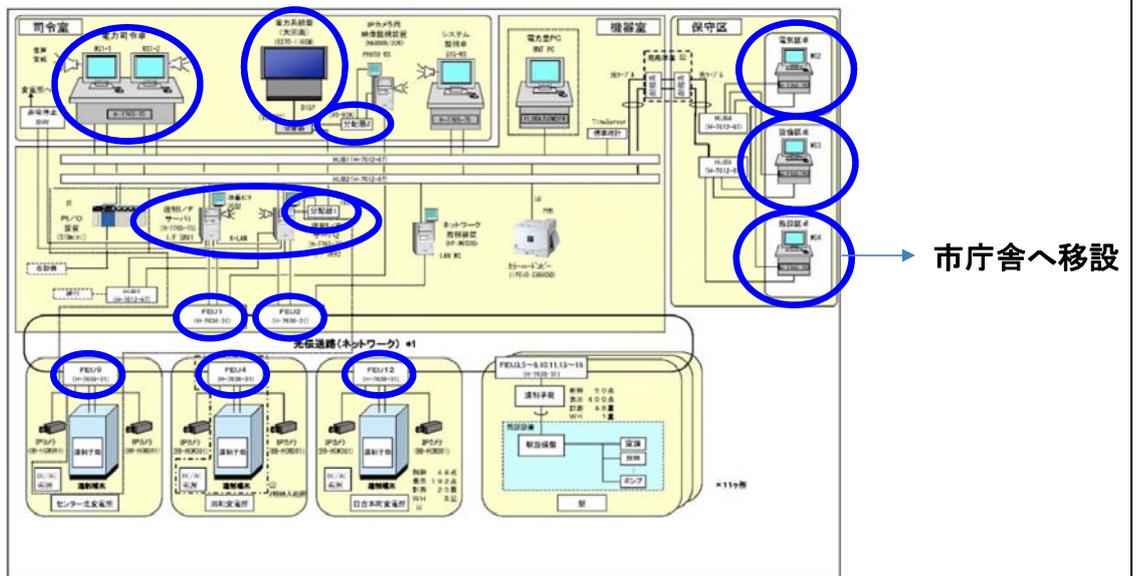
【事業内容】	4年度予算額
7 グリーンライン電力管理システム部分更新	0

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができます。また、各変電所には上記を行う為、遠方監視制御装置が設置されています。

グリーンライン電力管理システムは開業から12年がたっており機器の更新推奨時期になっています。そのため電力管理システムを継続して使用するために生産終了され機器交換、部品交換のできない機器の更新委託を行います。あわせて緊急時に効率的に対応ができるように市庁舎に監視端末を移設します。

更新対象機器一覧



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

8 直流電源装置更新

(1 事業目的・内容)

直流電源装置は停電時に駅の非常灯を点灯させたり、電気室及び変電所の開閉器の動作や故障検出を行う継電器への電源を供給しています。
令和4年度は新羽駅、仲町台駅、センター南駅(計3か所)の直流電源装置の機器更新を行い、機器の健全性の維持・確保を行います。
更新計画は直流電源装置の設置から30年経過した装置に対して、鉛蓄電池の寿命を考慮して計画しています。

<更新計画>

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
場所	下永谷駅	新羽駅 仲町台駅 センター南駅	牛久保変電所(3か所)	北新横浜駅 センター北 あざみ野駅
製造年・更新時経過年数	1984年・37年経過	1992年・30年経過	1992年・30年経過	1992年・30年経過
蓄電池交換実施年・蓄電池経過年数	下永谷 2009年・12年経過	新羽 2016年・7年経過 仲町台 2016年・7年経過 センター南 2015年・8年経過	変電所制御用 2015年・7年経過 発電機制御用 2018年・4年経過 発電機始動用 2018年・4年経過	北新横浜 2016年・7年経過 センター北 2019年・3年経過 あざみ野 2019年・3年経過
内容	蓄電池交換及び整流器更新	蓄電池交換及び整流器更新	蓄電池交換及び整流器更新	蓄電池交換及び整流器更新

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有 2000-20-00518、2009-20-00115
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無



【参考】直流電源装置

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	13,416					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・藪崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

9 防災設備更新工事

(1 事業目的・内容)

自動火災報知設備の更新を行います。
 自動火災報知設備は、設置から30年以上が経過し、修理に必要な部品の入手が困難となっており、一旦故障が発生してしまうと修理対応に時間を要する懸念があります。そのため受信機を更新し、安全性の維持に努めます。
 令和4年度は現在不具合が発生している新羽基地の受信機を更新します。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
対象駅	戸塚 (経年33)	—	新羽基地 (経年29)	あざみ野 (経年31)	北新横浜 (経年32)
	—	—		—	新羽 (経年32)
	—	—		—	仲町台 (経年32)



更新対象機器

●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・薮崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
10 区分開閉器更新工事	

(1 事業目的・内容)

区分開閉器は、電力回路を安全に開閉する設備です。
 上大岡駅に設置している直流区分開閉器は、製造から46年が経過しております。
 本設備は列車走行用の電力開閉器であり、電気事故等発生時に回路を遮断するほか、平日の営業運転終了後にいち早く不要な区間の電力供給を停止する部分き電停止に用いるため、保守作業や工事を効率良く行うために欠かせない設備です。

既設設備には以下の課題があるため、更新を行います。

- ・老化により機器の故障リスクがある
- ・機器故障時には部分き電停止が行えず、保守作業や工事の作業可能時間が短くなってしまふ



開閉器盤外観



遮断器外観

(2 前年度から変更・見直した点)
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

11 軌道モーターカー作業台改修

(1 事業目的・内容)

軌道モーターカーの作業台を改修することで、安全に高所作業を行えるようにします。

上永谷電気区所有のモーターカーは3台ありますが、内2台は製造から20年が経過しており故障が頻発しています。また、老朽化している1台は高所作業用です。

R3年からR4年にかけて、老朽化している高所作業用のモーターカー1台を更新する予定でしたが、現状のモーターカーを高所作業に適した形に改修することで、既存モーターカーの稼働率を高め、更新を延期します。

また、新羽電気区所有のモーターカーについても同様の改修をおこない、安全で効率的な保守作業の環境を確保します。



1998年製モーターカー



改修対象モーターカー

電気区保有モーターカー

号車	保管場所	用途	機能		改修対象
			油圧式作業台付	転車台付	
3号車	上永谷	電力	油圧式作業台付	転車台付	
4号車	上永谷	信通		転車台付	
11号車	上永谷	工事用	油圧式作業台付	クレーン付	●
12号車	新羽	信通	油圧式作業台付	転車台付	
13号車	新羽	電力	油圧式作業台付		●
14号車	新羽	工事用	油圧式作業台付	クレーン付 転車台付	●

【経緯】

R4年 3号車廃棄 新車購入予定 → 3号車の機能を11号車の改修によりカバー 新車購入を延期

(2 前年度から変更・見直した点)

新規案件

(モーターカー更新の代替策)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
12 信号保安装置更新工事(上永谷車両基地)	302,254

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地駅の信号保安装置(ATC装置、連動装置)は、運用開始後約28年経過しています。これまでに経年劣化対策として、ATC装置については設置後10年を基準にオーバーホールにより延命化を行い、さらに20年を基準に部分更新を行いました。また、連動装置についても設置後15年を基準に部分更新を行い、これらの取り組みにより重大事故や運行障害に直結する故障の発生はなく、安全性を確保して来ましたが、

しかし、設置後30年を経過することから、下記の理由により全面更新が必要です。

- ・今後故障の増加が予測されること。
- ・装置を構成する主要部品がすでに製造中止となり、今後の修理対応が困難なこと。
- ・装置内の配線、コネクタ等にも劣化が進んでいること。

信号装置	使用開始	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
上永谷 車両基地	H4年2月 部分更新	設計	工事	工事	工事・撤去

(2 前年度から変更・見直した点)

○継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有 上永谷車両基地信号機器室(R4)
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	302,254	302,254				604,508
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
13 BLホーム柵延命化のための部分更新	248,390

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。ブルーラインの可動式ホーム柵は、平成19年12月に設置開始してから13年が経過し、年に2回点検しながら使用していますが、近年ホーム柵内部の電源基板や制御基板、センサーなどの故障が発生しはじめています。製造メーカーの推奨では10年で一部の部品交換、20年で部分更新、30年で全面更新であることから、平成30年度より延命化のための部品交換を実施します。部品交換においては、ホーム柵内部などの部品交換に時間がかかることから各機器内の基板類とセンサーの2回に交換作業を分け、さらに32駅を3年に分けて、6年計画で実施します。



	作業内容	作業駅数	備考
平成30年度	基板類交換	6駅	予備品の購入も含む
令和元年度	(電源・制御基板、総合制御盤、 駅務室監視盤、駅係員操作盤)	16駅	
令和2年度		10駅	
令和3年度	センサー類交換	4駅	
令和4年度	(スイッチ、センサー)	20駅	
令和5年度		8駅	水侵入カバー、着雪防止カバー含む

(2 前年度から変更・見直した点)

交換部品の見直しを実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	56,000	248,390	141,900			446,290
債務負担設定	478,519					478,519

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

15 信号保安装置更新工事(新羽)

(1 事業目的・内容)

新羽駅の信号保安装置(ATC装置、連動装置)は、運用開始後約28年経過しています。
 これまでに経年劣化対策として、ATC装置については設置後10年を基準にオーバーホールにより延命化を行い、さらに20年を基準に部分更新を行いました。また、連動装置についても設置後15年を基準に部分更新を行い、これらの取り組みにより重大事故や運行障害に直結する故障の発生はなく、安全性を確保して来ました。

しかし、設置後30年を経過することから、下記の理由により全面更新が必要です。

- ・今後故障の増加が予測されること。
- ・装置を構成する主要部品がすでに製造中止となり、今後の修理対応が困難なこと。
- ・装置内の配線、コネクタ等にも劣化が進んでいること。

信号装置	使用開始	R3年度	R4年度	R5年度
新羽	H5年3月	設計 契約	工事	工事・撤去

(2 前年度から変更・見直した点)

○継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」 第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有 新羽信号機器室(R5)
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・藪崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
16 ブルーラインオーバーラン対策	247,500

(1 事業目的・内容)

通常、列車の運転においては、信号保安装置によるバックアップ機能が働いており、列車を停止すべき場面で運転士が停止させなかったとしても、強制的に列車を停止させ安全を確保される設計となっています。一方で、駅構内での車両入替については、こうしたバックアップ機能は法令上必須ではないため、従来設置していませんでした。本事業では、令和元年度のブルーライン踊場駅引込線での事故の安全対策として、当該区間にORS装置を設置します。ORS装置は列車速度を検知し、危険な速度の場合に強制的に列車を停止させる装置であり、これにより安全性が向上します。令和4年度は機器の設置・試験を行い、年度内に運用を開始します。

年度	主な作業内容
令和2年度	仕様検討・現場調査
令和3年度	機器製作
令和4年度	機器取付・試験調整



図1 踊場引き込み線終端部

(2 前年度から変更・見直した点)

○継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・藪崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
17 4号線ATO装置ユニット類更新作業	584,072

(1 事業目的・内容)

ATO装置とは、市営地下鉄のワンマン運転を支援するための装置であり、列車の出発ボタン押下で次駅の停止位置まで自動で運転する装置です。

グリーンラインのATO装置は設置後約10年(2007年12月)が経過し、2年に1度メーカーによる点検を行っていますが、ユニット部と呼ばれる主要な電子部品に故障が発生している状況のため、当該ユニット部の更新を行います。

なお、上記以外のワンマン運転支援に関係する装置についても、グリーンライン6両化と同時に更新をすることが合理的であるものは本事業にて更新を行います。

また、本事業は、「グリーンライン混雑緩和策(6両化)に伴う電気工事」と一体で行います。

	ATO装置(ユニット部)	ATO装置(ユニット部以外)	対列車画像伝送装置(画像処理架)
令和2年度	交換部品製作		
令和3年度	交換部品製作・交換		
令和4年度	交換部品製作・交換	交換部品製作・交換	交換部品製作・交換

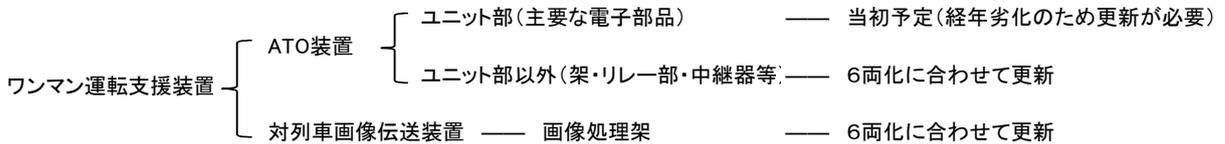


図1:ATO装置ユニット部

(2 前年度から変更・見直した点)

主要部品のみ更新から、ATO制御架一式の更新に変更。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 2007-20-01443のうち一部、2007-20-01456のうち一部
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	41,886	584,072				625,958
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
18 グリーンライン6両化に伴う電気工事	354,631

(1 事業目的・内容)

グリーンライン6両編成化に対応するための電気工事を行います。

(事業内容)

内訳	概要
ホームドア増設	6両編成の列車に対応するため、ホームドアの増設を行います。列車は4両編成と6両編成が混在するため、編成長に応じて一部ドアのみ開閉する機能を追加します。 また、川和町については、4両編成列車の停止位置変更に伴いホームドアの移設を行います。
車両基地線路延伸に伴う電車線延伸	6両編成の列車に合わせて基地内の線路が延長されるため、電車線と呼ばれる電車に電気を供給するための架線を延伸するほか、架線の張力を調整する装置を取り付けます。
信号設備の6両対応	既設の信号設備(出発表示器・手信号代用器)のうち、延長ホーム上に設置されているものを軌道内へ移設します。また、本線及び試運転線の信号設備を改修し、6両編成の列車でも自動運転(ATO運転)が行えるようにします。
通信設備の6両対応	既設の信号設備(対列車画像伝送装置ミリ波送信機・GTV地上装置)のうち、延長ホーム上に設置されているものを軌道内へ移設します。また、カメラ設備に編成長に応じた映像切替機能を追加し、列車の運転席で最適なホーム映像を確認できるようにします。

(主な作業予定)

内訳	R2年度	R3年度	R4年度予定
ホームドア増設	機器製作	現場掘付・試験調整	信号設備連動試験
車両基地線路延伸に伴う電車線延伸	現場調査	電車線延伸作業	作業なし
信号設備の6両対応	延長ホーム上の支障移転	6両編成対応作業	ホームドア連動試験・仮設撤去
通信設備の6両対応	延長ホーム上の支障移転	4両/6両切替機能追加	作業なし

(2 前年度から変更・見直した点)

継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 2007-20-01443のうち一部、2007-20-01456のうち一部 有
 無 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	2,666,651	354,631				3,021,282
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額										
19 4号線運行管理システム機器更新											
(1 事業目的・内容)											
<p>運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御・運行実績記録・在線状況表示・案内放送、および案内表示の制御を自動的に行う装置です。</p> <p>PTC装置は設置後約13年(2007年9月)が経過し、2年に1度メーカーによる点検を行っていますが、制御基板などの主要部品に故障が出ている状況です。製造メーカーの推奨では13年で一部の部品交換、25年で全面更新であることから中央処理装置及び駅装置の故障の未然防止と延命化のための部分更新を行います。</p> <p>また、運行表示盤についても設置後約13年(2008年2月)が経過し、主要部品の改廃により今後の修理が不可能な状況となったため、構成する設備を部分更新することでシステム全体の延命化を図ります。</p> <p>○グリーンライン運行管理システムユニット類更新作業(11か所) 内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅装置ユニット類交換</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>中央装置ユニット類交換</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>運行表示盤部分更新</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>共有ディスク装置遠隔化</td> <td>一式</td> </tr> </tbody> </table>		項目	数量	駅装置ユニット類交換	一式	中央装置ユニット類交換	一式	運行表示盤部分更新	一式	共有ディスク装置遠隔化	一式
項目	数量										
駅装置ユニット類交換	一式										
中央装置ユニット類交換	一式										
運行表示盤部分更新	一式										
共有ディスク装置遠隔化	一式										
(2 前年度から変更・見直した点)											
○新規事業											
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)											
「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得											
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)										
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無										

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
20 総合設備ネットワーク10G化、ITVネットワーク統合作業委託	7,215

(1 事業目的・内容)

【長期目標】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像を司令所から監視ができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状況を把握し、乗務員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

【更新内容】

・総合設備ネットワークの増強 (BL・GL)

⇒監視装置(カメラ、監視装置)をホーム監視ネットワークから総合設備ネットワークに載せ替えますが、監視装置は伝送容量が大きく、このままでは総合設備ネットワークに載せている他装置に影響を与えてしまいます。

そのため、機器を更新して通信速度及び伝送容量を増強します。

令和2年度完了予定でしたが、不具合により更新ができず未完了のため残りの分を令和4年度に更新します。

・ITVカメラ設備設置 (GL・BL)

⇒GLはホーム監視ネットワークから総合設備ネットワークに載せ替えるにはネットワークの構築上、一括で全駅分を更新しなければいけません。

また、GLは6両化されるため、監視装置の拡張性を考慮しつつ、あらかじめITV設備を更新します。

・4両用CCTVカメラの更新 (GL)

⇒GLの4両用CCTVカメラは設置から10年以上経過しており、一度も更新しておりません。

各駅にてカメラの故障が発生しており、また、川和町駅では6両化に伴い新しく4両用CCTVカメラを設置するため、合わせてGL全駅分の4両用CCTVカメラを更新します。合わせて更新することで作業費が安くなります。



駅の状況を、総合設備ネットワークを利用して司令所や駅事務室で監視



駅監視用ITV及び乗務員用CCTVカメラ更新・設置計画

年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度以降
カメラ更新・増設	3駅	1駅(改良工事)	1駅(改良工事)	6駅	13駅
カメラ更新 (ITV・CCTV)	—	BL4駅・GL10駅		—	—
ネットワーク増強	全駅(駅間10G化)		—	—	—
6両化対応	—	6両乗務員用CCTVカメラ GL10駅		—	—

↑太枠内が今回の予算要求に関連する内容

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

通信設備更新計画

駅からの要望

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 2012-10-00267 2012-10-00268
 無 2012-10-00269 2012-10-00270

有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費		7,215				
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

21 SR携帯防護無線機改修

(1 事業目的・内容)

SR携帯防護無線機は列車無線を構成する設備の一つで、列車の防護発報機能を2重化するための重要な設備です。車両の防護発報機能が使用できなくなった時のバックアップのため、設備が義務付けられています。本件は、SR携帯防護無線機(33台)のスプリアス対応を行うものです。

防護発報：非常時に発報エリアの全列車を緊急停止させるための機能

(2 前年度から変更・見直した点)

年度	3年度	4年度
内容	契約設計	改修試験

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令
電波法



(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・藪崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
22 BL列車無線装置部分更新	0

(1 事業目的・内容)

- ブルーライン列車無線装置
列車無線装置は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所一列車間で情報を伝達するための無線装置です。通話以外の主な機能として、
 - ・ 一斉停止(司令所から全列車を緊急停止させる)
 - ・ 非常通報(乗客が客室に設置されている非常通報装置から司令所を呼び出す)
 - ・ 一斉放送(司令所から各列車に一斉に放送する)
 - ・ 地震通報(地震発生時に各列車へ自動通報する)
 - ・ 防護発報(事故発生時等、運転士が近辺の列車を停止させる。ワンマン運転での必須機能)等があります。

- オーバーホールによる延命について
本装置は平成16～18年度、ワンマン運転に対応する(防護発報機能を追加)時に更新を行っています。
本装置は運用開始から今年度で15年が経過しているため、コンデンサ等の電気部品(通常10年程度)が確実に劣化しています。
本来であれば更新を検討しなければいけないところではありますが、現在の経営状況を踏まえ、オーバーホールによる有寿命部品(電源、リレー、コンデンサ等)を交換することにより5年程度の延命を図ります。

R4年度 設計
R5年度 改修作業

R6年度～R10年度 … 延命期間



(2 前年度から変更・見直した点)

新規

年度	4年度	5年度	～9・10年度
内容	契約設計	改修試験	～ 全面更新を計画

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
23 列車接近警報装置延命化のためのユニット類購入	

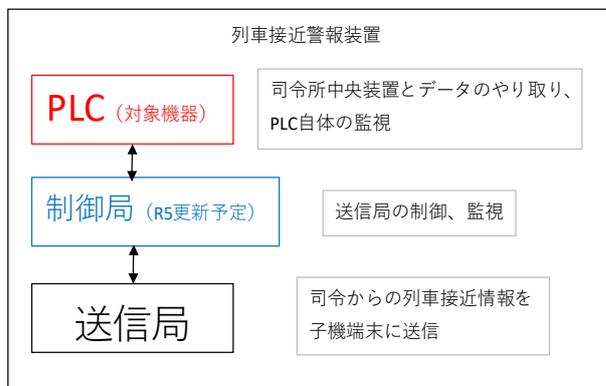
(1 事業目的・内容)

概要

列車接近警報装置とは営業中に保守作業員が軌道内に立ち入る際に端末を持ち運び、司令所中央装置から伝送された列車接近情報をもとに各駅基地局の送信局から端末に列車接近を警報し、安全に待避するための装置です。

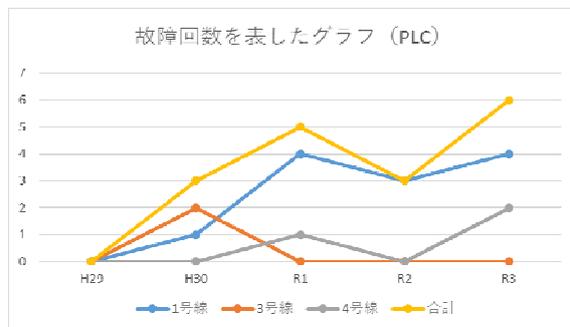
設置から12年が経過しているため装置に使用されているユニット類の修理ができず、また、来年9月にユニット類が生産中止となるため、延命化のために一部のユニット類を購入します。令和5年度に制御局用のユニット類を購入予定です。

購入部品・箇所数



中田駅	都筑ふれあいの丘駅
港南中央駅	北山田駅
阪東橋駅	高田駅
仲町台駅	総合司令 (BL)
三ツ沢下町駅	総合司令 (GL)
合計10箇所	

障害分析



	1号線	3号線	4号線	合計
H29	0	0	0	0
H30	1	2	0	3
R1	4	0	1	5
R2	3	0	0	3
R3.9月時点	4	0	2	6

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
24 放送装置更新(戸塚駅)	

(1 事業目的・内容)

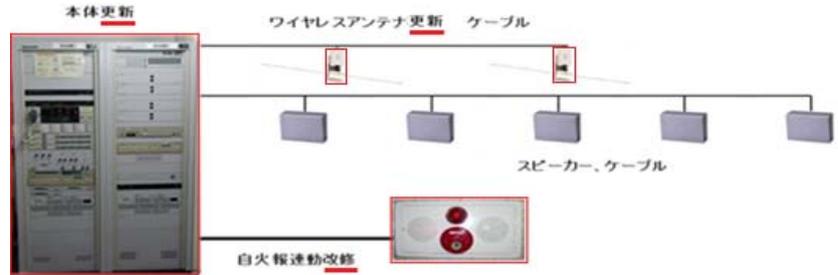
【目的】
放送設備の機能を維持し、駅の放送業務の改善と旅客サービスの向上を図ります。
老朽化した放送設備では、修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。
非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送ができなくなり、乗降促進放送も鳴動しなくなり、消防法違反と列車運行支障となります。

【目標】
機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。設置から12年以上経過し、軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置を行います。
来年度については、設置後16年が経過し、不具合が多く駅からの更新要望がでている戸塚駅について更新を行います。
現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため、最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用します。

【課題】
駅業務放送、自動案内放送、乗降促進放送等、各々の音量レベルを調整し、お客様に不快の念を与えないよう配慮します。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	対象外
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新
自動火災受信盤改造	改修



【更新計画】

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	戸塚	高島町	日吉本町	東山田
2		吉野町	日吉	高田
3		中山		弘明寺
4				
計	1	3	2	3

(2 前年度から変更・見直した点)
更新計画を見直し延命化

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | |
|--|-----------------------|
| <p>■ 有 戸塚 2007-20-00144(放送装置)</p> <p>□ 無 1989-20-00111(拡声装置)</p> <p>1999-20-01482(拡声装置)</p> <p>2006-20-00318(増幅器スピーカー)</p> | <p>□ 有</p> <p>■ 無</p> |
|--|-----------------------|

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

25 指令電話装置整流器更新

(1 事業目的・内容)

- 指令電話装置
 転指令電話は、列車の安全な運行及び迅速かつ正確な運用管理を行う保安通信設備であり、通常の列車運行に関する諸連絡を一元管理するとともに、保守作業・事故・災害時の緊急連絡などを行うための電話設備で、運転系統と電力系統の2系統に大別されます。
 指令電話のもっとも重要な役割は、目的の子機を迅速かつ確実に呼び出し、指令内容を伝達することで、司令所からは、個別、グループ別、一斉で子機を呼び出すことができます。指令電話の子機は各駅、乗務管理所、駅務管理所、保守管理所、変電所等に設置されています。
- 電源装置の更新について
 本電源装置は平成14年度の司令所移転時に新規に設置しています。
 本装置交流入力を交換機用の直流電源に変換するもので、運用開始から今年度で19年が経過しており、期待寿命である15年を超えているため更新が必要となります。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

2002-20-00293 直流電源装置

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

26 光LAN用無停電電源装置更新

(1 事業目的・内容)

光LAN装置は、列車無線、指令電話、自動案内放送などの音声データや、設備指令、ATO、案内表示器情報などのデータを伝送する基幹光伝送路を構成する装置です。装置本体を設置してから10年が経過し、前回の鉛蓄電池の更新からも5年が経過します。無停電電源装置の機器寿命は10年であり、来年度は機器寿命を超えてしまうので、更新が必要です。このため、更新計画に基づき、光LAN用無停電電源装置本体5台(湘南台駅・上大岡駅・上永谷駅・下永谷駅・上永谷基地)の購入・更新を行います。

UPS更新計画台数	2021	2022	2023	2024	2025
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
6KVA	7	5	4	3	5

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望
 運転保安設備実施基準
 信号通信設備整備心得
 通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 湘南台駅2006-20-00214,2016-20-00666 | <input type="checkbox"/> 有 |
| <input type="checkbox"/> 無 | 上大岡駅2012-20-00004,2017-20-00435 | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | 上永谷駅2012-20-00005,2010-20-00274 | |
| | 下永谷駅2008-20-00633,2016-20-00664,2016-20-00660 | |
| | 上永谷基地2017-20-00436 | |

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	10,949					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
-------------	--------

27 VHF保守用無線更新

(1 事業目的・内容)

保守用VHF無線局は、保守上の業務連絡に用いるほか、大規模災害発生時などの緊急連絡手段として、総司令所や各保守管理所に通信所を置くほか、保守管理所の緊急自動車への車載局や携帯局などが配備されています。

しかし、

- 保守用の携帯無線機も13年経っている。
 - 現在の機種は製造中止であり、修理パーツの供給体制に懸念が生じる。
(修理数：令和2年度9台、令和元年度8台)
 - バッテリーの消耗が激しい。(バッテリーの交換は不可のため、新規購入しかない)
- 以上のことから、無線局の更新を計画的に進めていきます。

新携帯局無線機の仕様

- バッテリー容量が1.25倍になり、運用可能時間が延伸。
- デジタル・アナログ兼用なため、将来的にデジタル化に対応可能。
- 耐塵、防水構造。

標準構成

- ・無線機本体、キャリングケース、蓄電池パック、充電器、ベルトクリップ、外部スピーカーマイク
(免許申請等含む)



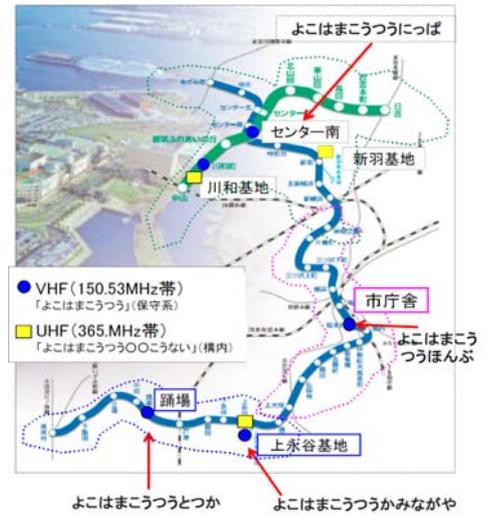
写真例：携帯局無線機

●現況数量

・基地局 4局 【市庁舎25W、踊場10W、センター南10W、上永谷基地5W】

・移動局108局
 (車載11局 (上永谷4局、新羽4局、川和3局) 【25W、10W】)
 (携帯97局 (上永谷42局、新羽36局、川和16局、市庁舎3局) 【5W、1W】)

● 保守無線系統図
 (■ 構内無線系統図)



(2 前年度から変更・見直した点)

携帯局をすべて5Wとし、順次更新していく。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

電波法施行規則第2条
無線設備規則別表第3号

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(5 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	1,518					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・数崎・金井

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
28 GL対列車画像伝送装置更新	185,140

(1 事業目的・内容)

【対列車画像伝送装置について】

対列車画像伝送装置は、ホームのカメラ映像を列車に送信する装置で、乗務員がお客様が列車から乗降する様子を確認するために使用しており、ワンマン運転には必要不可欠な設備です。

【現状の課題】

グリーンライン開業時に導入後12年以上が経過し、機器寿命に達しています。また、グリーンライン6両化事業において、現在の4両用のカメラ映像に加えて、6両用のカメラ映像を列車に送信する必要があります。さらに、列車の車両数に応じて、4両用と6両用のカメラ映像を切り替える機能追加が必要となります。

【対策】

既存の4両用の対列車画像伝送装置を更新し、6両用にも対応した機能追加をします。

(2 前年度から変更・見直した点)
継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



本事業の更新対象

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、日比野

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	2,334,553	2,327,071	7,482

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
1 早期運行再開のための耐震補強	121,565

(1 事業目的・内容)

兵庫県南部地震以前に作られた構造物については、旧運輸省の通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋りょうのRC柱、開削トンネルのRC中柱の補強及び橋りょうの落橋防止工を平成7～15年度に実施して完了しています。平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際でも、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

- 実施区間 戸塚駅～あざみ野駅区間
- 補強対象構造物 ラーメン高架橋、橋りょう、開削トンネル
- 耐震補強の進め方 耐震補強の必要性を判断（耐震性能診断設計）【H25年度より実施】
- ↓
- 耐震補強工事の詳細設計【H25年度より実施】
- ↓
- 耐震補強工事の実施【H27年度より実施】

	H26年度	H27年度	H28年度～R3年度	R4年度	
耐震調査・設計委託					
耐震工事	ラーメン・橋脚(高架部)				～R5年度
	トンネル・駅部(地下部)				～R5年度



(2 前年度から変更・見直した点)

前年度に引き続き、平成15年度までに完了した耐震補強により構造物の崩壊は防ぐことができるため、早期運行再開のための耐震補強については、経営状況を考慮しながら事業を進めていくこととします。このため、令和4年度の新規発注は見合いません。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有 地下高速鉄道整備事業費補助、防災・減災対策等強化事業推進費
- 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	195,461	121,565				
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、江森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
2 大江橋換気塔ほか構築補修工事	466,950

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄の関内駅と桜木町駅の駅間にある大江橋換気塔については、塩害によりはく離・はく落が発生しており、叩き落として対処していますが、劣化が進行している状況です。そのため、塩害対策工法を用いて止水注入や構築補修工事を実施します。また、トンネル部についても、劣化が進行している箇所があるため、併せて構築補修工事を実施します。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設計委託					
上り線					
ポンプ室					
下り線					



▲通風孔の劣化状況



▲下り線の劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

工事契約による事業費の見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	176,335	466,950				643,285
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、日比野

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
3 構造物コンクリート剥離箇所補修工事	

(1 事業目的・内容)

塩害区間において、はく落の恐れのある箇所の叩き落しを行った結果より、計画的に補修を行うために補修方法、安全性について調査設計委託を行い、その後補修工事を行います。



▲劣化状況

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
設計委託		(4)R4委託			
補修工事	(1)R3構築補修工事				
	(2)R3構築補修工事(その2)				
	(3)R4構築補修工事				

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	451,300					3,086,290
債務負担設定	580,420					2,476,420

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、増田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
4 宮元町シールドトンネル補修工事	756,218

(1 事業目的・内容)

吉野町～蒔田間の宮元町シールドトンネルは、開業後45年以上経過しており、経年劣化がみられるため列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行います。

※宮元町シールドトンネルの補修計画

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・設計委託	上下線							
補修工事	上下線							



▲RCセグメントの劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

契約金額が確定したため、全体事業費を見直した。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	360,150	756,218	760,958	554,200	178,524	2,610,050
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、鍵和田

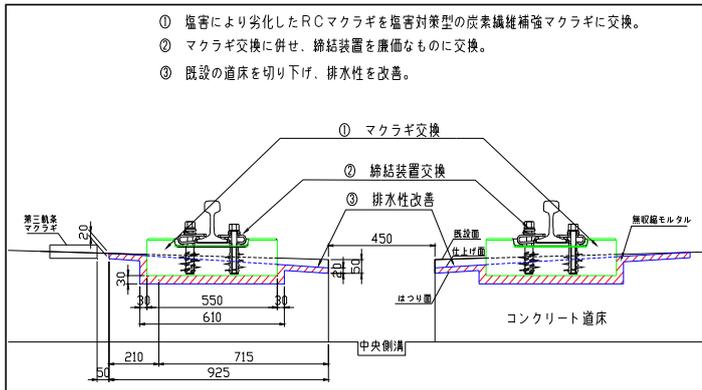
(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
5 横浜・三ツ沢下町間(上下)軌道改良工事	

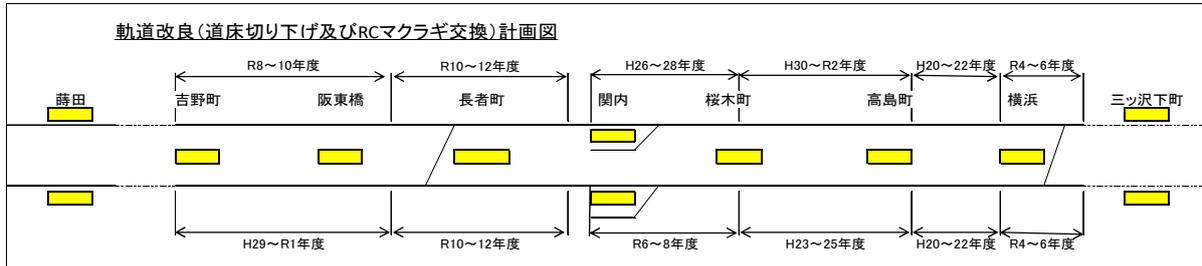
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和4年度上半期より工事に着手し、令和6年度に完成予定となっています。

(概要) 軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画) 本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。



(2 前年度から変更・見直した点)
改良工事計画を見直しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	494,752					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、山田

(単位：千円)

【事業内容】	4年度予算額
6 分岐器改良工事	

(1 事業目的・内容)

交換計画について

- ・上永谷36・37SC 8番シーサスクロッシング : 分岐器材料購入 【R3年度契約・R4年度納入】
- ・上永谷構内36・37分岐器改良工事 : 改良工事(全交換) 【R4・5年度施工】

今回、全交換する上永谷36・37SC 8番シーサスクロッシングは、敷設から30年が経過しており、交換計画の25年を超えるため優先して交換を行うものです。なお、クロッシングをマンガン製から振動・騒音対策のための溶接に適したレール製に改良します。

債務負担について

- ・令和4年度契約予定の上永谷36・37分岐器改良工事の支払いのため、令和5年度に債務負担を設定しています。

《交換計画》

駅名	分岐器No.	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度
関内	23	交換				
上永谷	36・37SC	材料	購入 → 交換			
新横浜	22				交換	
	21イ				材料購入 → 交換	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	89,722					526,887
債務負担設定	61,600					

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、岩崎

(単位:千円)

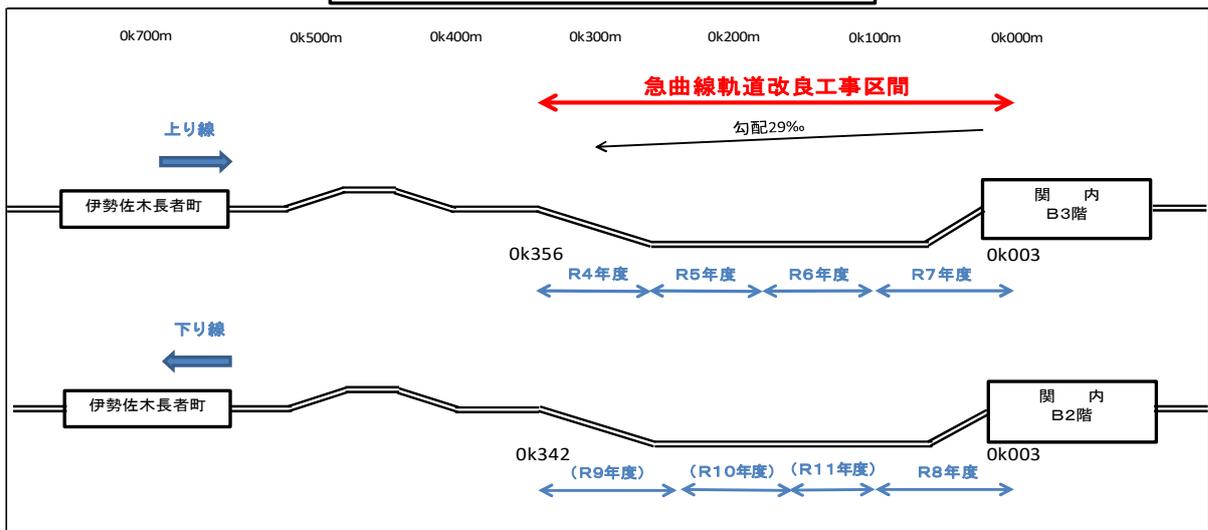
【事業内容】	4年度予算額
7 関内長者間急曲線軌道改良工事	37,060

(1 事業目的・内容)

関内～伊勢佐木長者町駅間の曲線区間(R125)は急曲線であることや塩害部区間であることから、近年損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。
保守作業の軽減・安全性の向上を目的に、軌道部材の強化や防食等も含めた幅広い視野からの詳細設計をもとに検討し、軌道改良工事を実施します。



関内長者間急曲線軌道改良工事 計画表



(2)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	48,338	37,060				670,296
債務負担設定	198,065					

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：07 附帯事業費	所属：施設課 担当者名：内田、甲州

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
8 センター北6両化乗務員昇降階段設置	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン6両化に伴い、センター中線に6両編成の車両が留置されることとなりましたので、乗務員昇降階段を1基設置します。



現況 4両編成用昇降階段



6両編成用昇降階段設置位置

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	3,963,521	5,533,380	△ 1,569,859

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建1 上大岡駅改良工事	1,431,242

(1 事業目的・内容)

上大岡駅は、40年以上が経過し、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。加えて、お客様の利便性向上及び駅周辺のバリアフリー化に寄与するため、京急側改札口に地上行きエレベーターの新設、また順次採用が予定されている女性職員用施設の整備等を含む駅全体のリニューアルを行います。
そのため、H29年度に基本設計、H30年度に実施設計、R2年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新も実施するものです。

<年次計画>

(千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
基本計画	10,260								10,260
基本設計		61,992							61,992
実施設計			130,096	6,776 ^{※1}					136,872
工事				34,936 ^{※2}	70,680	963,559	1,431,242	1,279,729	3,780,146

※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

※1:実施設計(その2) 6,776千円

※2:上大岡駅冷却塔更新工事 32,703千円

上大岡駅エレベーター新設工事に伴う支障電気工作物移設工事 2,233千円



京急連絡改札口側地上行きエレベーター(イメージ図)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有(地下高速鉄道整備事業補助)
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	963,559	1,431,242	1,279,729			3,674,530
債務負担設定	130,200					130,200

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
建2 新横浜駅改良工事	1,175,031

(1 事業目的・内容)

新横浜駅では、神奈川東部方面線との接続により、利用する旅客数や流動、周辺地域などにおいて大幅な変化が予想されます。本工事は、このような神奈川東部方面線接続後に予想される旅客等の変化と、横浜の玄関口としてお客様を快適な空間でお迎えできるよう、レイアウト変更や内装改修を行うものです。
平成30年度からの前期工事及び令和元年度からの前期その2工事では、手洗所改修などのバリアフリー設備の充実や老朽化した設備等の更新を行い、令和2年度からの後期工事では、神奈川東部方面線との交差接続に伴い必要となる関連工事を、新第5出入口新設工事では、既存出入口の閉鎖に伴う代替の出入口の新設等の改修を実施します。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				ラグビーWC		オリンピック	ST線開業
基本設計		基本設計(改良)	基本設計(5口)				
実施設計			実施設計(改良)		実施設計(5口)		
工事(前期工事)			工事				
工事(前期その2工事)			工事				
工事(後期工事)					工事		
工事(新第5出入口新設工事)							工事
基本設計(改良)		※建設改良課予算					
実施設計(改良)		※建設改良課予算					
基本設計(5口)			6,696				
実施設計(5口)				3,460	0	19,860	
前期工事	建築工事		70,787	102,081	161,009		
	機械設備工事		8,744	112,209	138,614		
	電気設備工事		1,339	19,480	66,850		
	工事費		80,870	233,770	366,473		
2前期その	建築工事			74,824	249,838		
	機械設備工事			8,566	61,138		
	電気設備工事			32,573	171,723		
	工事費			115,963	482,699		
昇降機工事				191,263	0	0	52,440
後期工事	建築工事				85,969	407,510	393,234
	機械設備工事				32,614	190,692	189,325
	電気設備工事				24,463	113,300	167,027
	工事費				143,046	711,502	749,586
昇降機工事					0	31,760	47,649
システム工事							
土木工事					0		
口新第5出入口	建築工事				0	34,000	51,000
	機械設備工事				0	6,320	9,480
	電気設備工事				0	12,160	18,240
	工事費				0	52,480	78,720
昇降機工事							
合計			87,566	544,456	992,218	939,602	1,175,031
			実績	実績	実績	決算見込	

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

■ 有
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	970,368	1,175,031				2,145,399
債務負担設定	150,521					150,521

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建3 GL6両化に伴う改修工事	202,033

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの乗車人員は増加傾向にあり、混雑率が年々増加しています。混雑緩和対策として、輸送力の増強を目的とした6両化の編成を計画していますが、それに伴いホーム延長部分および車両基地の改修が必要となります。

H30年度に基本設計を実施し、R1年度からR2年度にかけて実施設計を行っています。R2年度から改修工事に着手し、グリーンラインの輸送力増強に向けて駅施設をR3年度末までに完了させます。

車両基地に関してはR3年度末までに6両編成を整備できる設備を完成させ、R4年度は引き続き車輪倉庫と詰所部分の増築を行います。

(単位:千円)

工種	H30	R1		R2		R3	R4
	基本設計	基本設計	実施設計	実施設計	工事	工事	工事
駅ホーム延伸工事(建築・設備・電気)					684,023	1,199,879	0
検修庫増築工事(建築・設備・電気)	0	51,840	0	161,249	85,419	662,088	202,033
車両検修設備工事					-	-	-
ホームドア増設工事			-	-	-	-	-
信号・通信工事	-	-	-	-	-	-	-
車両基地軌道工事	7,730	-	-	-	-	-	-
電車線工事	0	7,290	0	19,800	-	-	-
変電所容量増設工事			-	-	-	-	-
計	7,730	59,130	0	181,049	769,442	1,861,967	202,033

※実績

※実績

※実績

※決算見込

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	1,840,458	202,033				2,042,491
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建4 桜木町駅出入口上屋改修工事	

(1 事業目的・内容)

桜木町駅内装改修その他工事(建築工事)において、出口1の天井仕上げを改修するにあたり、仕上げ材を解体した際、既存屋根の腐食が判明しました。既存屋根の状態からの補修は不可能であり、葺き替え等が必要となるため、桜木町駅内装改修その他工事(建築工事)では仮設天井の設置とコーキング打ち換えを実施しました。

本設計では、既存屋根を撤去し、新設屋根を新設するとともに、主要構造部の大規模の模様替を行うことに伴う、計画通知及び既存遊及を行います。

令和4年度に設計、令和5年度に工事を行います。

現状写真

仮設天井



計画

令和4年度	設計
令和5年度	工事

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建5 手洗所改良工事	64,400

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっている伊勢佐木長者町駅及びセンター南駅の男女旅客用手洗所の改修工事を行います。伊勢佐木長者町駅については令和3年度から4年度、センター南駅については令和4年度に発注・契約をし、令和5年度中に工事を行います。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
伊勢佐木長者町		工事	
センター南			工事
工事費	212,490	64,400	

※決算見込

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	212,490	64,400				
債務負担設定	83,835					

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
建6 職員用施設改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

近年、女性の保守掛員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。特に上永谷保守管理所においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)が未整備の状況です。
つきましては、令和4年度に上永谷保守管理所における女性職員用施設を増設する工事の設計を行います。

(1)現況・改修内容

		手洗所		ロッカー室		シャワー室		洗面所	
		現況	改修内容	現況	改修内容	現況	改修内容	現況	改修内容
上永谷保守管理所	男性	あり	-	あり	-	あり	-	あり	-
	女性	なし	新設	なし	新設	なし	新設	なし	新設

(2)事業スケジュール

(単位:千円)

実施駅	H30	R1	R2	R3	R4
湘南台、立場	設計	工事			
戸塚		設計	工事		
港南中央			設計		
上永谷保守管理所					設計
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	駅大規模改良工事で実施				
設計費	12,420	8,240	7,579	0	
	※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
建7 軌道内対向壁改良工事	

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷～横浜)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅や駅改良工事に併せて計画的に撤去及びリニューアルを行います。

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査	横浜 桜木町 吉野町	高島町 伊勢佐木長者町					
設計			吉野町(解体)		桜木町(解体) 伊勢佐木長者町(解体)	吉野町(新設)	横浜(解体)
工事		※関内(完了)		吉野町(解体) ※阪東橋(完了)	吉野町(解体) ※上大岡(完了)	桜木町(解体) 伊勢佐木長者町(解体)	吉野町(新設)

※改良工事にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	3,300					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建8 ブルーラインホーム改良工事	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>現在、ブルーラインはプラットフォームと車両床面との段差・隙間があり、車椅子利用等のお客様がご乗車される際は、駅職員の介助が必要となっています。</p> <p>令和元年10月にバリアフリー整備ガイドラインが改正され、段差・隙間の目安値が示されたことで、全国的に段差・隙間縮小に向けた動きが活発化しており、当局ではオリンピック前に新横浜駅(4扉分)を施工しました。</p> <p>令和4年度は、新横浜駅以外のブルーライン全31駅の実施設計を行います。</p>	
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p>	
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>	
<p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建9 川和保守管理所総合事務所棟改修工事	76,047

(1 事業目的・内容)

令和3年度に検修作業の効率化のため、予備品倉庫を検修庫増築部に移設しました。
 既存予備品倉庫は、今後外注業者の人員が増え、既存の外注事務所の面積が足りなくなることが想定されるため、外注事務所に改修します。
 既存外注事務所は、令和3年度に女性用施設を整備した際に会議室が無くなったため、会議室に改修します。
 これらの工事をR4年10月末までに完了させます。

【改修内容】

総合事務所棟: 外注詰所移設、会議室新設

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	61,804	76,047				137,851
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額				
建10 ガラス垂壁改良工事					
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>蒔田駅ホーム天井の防煙垂れ壁が列車風圧等による金属疲労で落下しました。この事象に伴い、ブルーライン32駅・グリーンライン10駅の安全性を考え、接客面の防煙垂壁の調査・設計・改修工事を行います。今年度は設計費の調査・設計費用を計上します。</p> <p>改修計画(案)(予定)</p> <table> <tr> <td>令和4年度</td> <td>ガラス垂壁改良工事(調査・設計)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>ガラス垂壁改良工事(工事)</td> </tr> </table>		令和4年度	ガラス垂壁改良工事(調査・設計)	令和5年度	ガラス垂壁改良工事(工事)
令和4年度	ガラス垂壁改良工事(調査・設計)				
令和5年度	ガラス垂壁改良工事(工事)				
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p>					
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>					
<p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>					

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建11 横浜駅職員用浴室改修工事	

(1 事業目的・内容)

横浜駅は開業から50年以上経っており、施設の劣化が各所で見られます。特に、職員用の浴室及び脱衣室は長年の使用と湿気により、劣化が著しい箇所になっています。つきましては、横浜駅の浴室をシャワーユニットへ改修し、それに合わせて脱衣室の改修及びこれらに伴う設備の改修工事のための設計を行います。



横浜駅 浴室(左)及び脱衣室(右)の現況

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
建12 路線図改修工事	

(1 事業目的・内容)

令和4年度に予定されている相鉄・東急直通線の開業に向けて、ブルーライン及びグリーンライン全駅の構内に設置されている交通案内図を改修します。

【対象交通案内図件数】

ブルーライン :36か所

グリーンライン :8か所

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設1 エスカレーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルを実施します。

現在、ブルーラインには、稼動年数30年を超えるエスカレーターが32台あります。

(戸塚4台、港南中央2台、関内1台、桜木町駅1台、下永谷駅2台、三ツ沢下町駅7台、三ツ沢上町駅8台、片倉町駅5台、岸根公園駅2台)

これらのエスカレーターは、今後、経年劣化によって機能が低下し、さらに老朽化していく状況にあります。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

■ エスカレーターリニューアル計画

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
工事施工	桜木町 1基			ぴおシティ連絡 1号機・2号機
		下永谷 2基		5号機・6号機・7号機
		三ツ沢下町 3基		

※令和4年度実施予定駅

- ①下永谷駅 1、2号機(昭和60年設置)※ラチ内 B1F~B2F
②三ツ沢下町駅 5、6、7号機(昭和60年設置)※ラチ内 B1F~B4F

※エスカレーターリニューアル実施済の駅

- ①平成26年 桜木町駅 2基
②平成28年 関内駅 4基
③平成29年 横浜駅 2基
④平成30年 高島町駅 2基
⑤令和元年 高島町駅 2基
⑥令和2年 高島町駅 2基

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	77.107					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設2 エレベーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
湘南台(1基)			工事	
* 新横浜(3基)		工事1基(新設2基)		
新羽(2基)	工事			
* 上大岡(4基)			工事2基(新設2基)	
中田(3基)	設計	工事2基		工事1基
仲町台(2基)			設計	工事
設計費	4,114	0		
工事費	89,973	98,764		
計	94,087	98,764		

*各改良工事にて計上

※実績

※決算見込

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	98,764					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設3 エレベーターのリニューアル(設計)	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
湘南台(1基)			工事	
* 新横浜(3基)		工事1基(新設2基)		
新羽(2基)	工事			
* 上大岡(4基)			工事2基(新設2基)	
中田(3基)	設計	工事2基		工事1基
仲町台(2基)			設計	工事
設計費	4,114	0		
工事費	89,973	98,764		
計	94,087	98,764		

*各改良工事にて計上

※実績

※決算見込

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設4 動力監視盤改修工事	96,679

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

【年次計画】

実施駅(予定)	R3	R4 (予定)	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)
中川						
中山						
仲町台		●工事				
新羽	●工事					
北新横浜						
伊勢佐木長者町			□設計	●工事		
戸塚						
踊場	●工事					
中田			●工事			
立場		□設計	●工事			
下飯田		□設計		●工事		
湘南台		●工事				
設計費	0					
工事費	92,334	96,679	-	-	-	-
各年度計	92,334					

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	92,334	96,679				189,013
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設5 動力監視盤改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

【年次計画】

実施駅(予定)	R3	R4 (予定)	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)
中川						
中山						
仲町台		●工事				
新羽	●工事					
北新横浜						
伊勢佐木長者町			□設計	●工事		
戸塚						
踊場	●工事					
中田			●工事			
立場		□設計	●工事			
下飯田		□設計		●工事		
湘南台		●工事				
設計費	0					
工事費	92,334	96,679	-	-	-	-
各年度計	92,334					

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設6 排水ポンプほか更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

対象機器	R2・3年度設計・R3・4年度工事	R3年度設計・R4年度工事	R4年度設計・R5年度工事
排水ポンプ	岸根公園 2台(平成15年) 片倉町第1 2台(平成12年) 大谷中間 3台(昭和50年) 茅ヶ崎南中間 2台(平成19年) 三ツ沢上町 2台(平成11年)	三ツ沢下町 2台(平成14年) 阪東橋 2台(昭和62年)	湘南台 2台(平成11年) 和泉町中間 3台(平成11年) 広町中間 2台(平成11年) 中田 2台(平成11年) 吉田中間ポンプ所(配管)
給水ポンプ		上永谷基地 (検車区)2台(平成10年) (保守区)2台(昭和50年) (修繕工場)2台(平成16年)	
汚水ポンプ		下永谷 2台(平成13年)	湘南台 2台(平成11年) 下飯田 2台(平成11年) 中田 4台(平成11年)
中水ポンプ	大谷中間 1台(昭和50年)		
攪拌機		三ツ沢下町 1台(新設)	下飯田 1台(新設) 中田 1台(新設)

予算年度	R3年度	R4年度	R5年度
設計費	4,334		
工事費	58,587		
計	62,921		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	58,587					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設7 排水ポンプほか更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

対象機器	R2・3年度設計・R3・4年度工事	R3年度設計・R4年度工事	R4年度設計・R5年度工事
排水ポンプ	岸根公園 2台(平成15年) 片倉町第1 2台(平成12年) 大谷中間 3台(昭和50年) 茅ヶ崎南中間 2台(平成19年) 三ツ沢上町 2台(平成11年)	三ツ沢下町 2台(平成14年) 阪東橋 2台(昭和62年)	湘南台 2台(平成11年) 和泉町中間 3台(平成11年) 広町中間 2台(平成11年) 中田 2台(平成11年) 吉田中間ポンプ所(配管)
給水ポンプ		上永谷基地 (検車区)2台(平成10年) (保守区)2台(昭和50年) (修繕工場)2台(平成16年)	
汚水ポンプ		下永谷 2台(平成13年)	湘南台 2台(平成11年) 下飯田 2台(平成11年) 中田 4台(平成11年)
中水ポンプ	大谷中間 1台(昭和50年)		
攪拌機		三ツ沢下町 1台(新設)	下飯田 1台(新設) 中田 1台(新設)

予算年度	R3年度	R4年度	R5年度
設計費	4,334		
工事費	58,587		
計	62,921		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	4,334					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設8 排水メーター更新	

(1 事業目的・内容)

駅及び中間ポンプ所の各ポンプ(中水(トイレ洗浄)、排水(湧水)ポンプ)には正確な送水量を計測するため、排水メーター(電磁式積算流量計)が設置されています。(※河川放流をのぞく)排水メーターは計量法により、8年ごとの交換が定められています。法令順守および正確な送水量を計測するため、計画的な交換を行います。

■ 排水メーター更新工事

年度	令和4年度	令和5年度	備考
工事施工	吉田中間ポンプ所ほか 6か所 13個	関の下中間ポンプ所ほか 9か所 29個	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
計量法第16条第1項

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

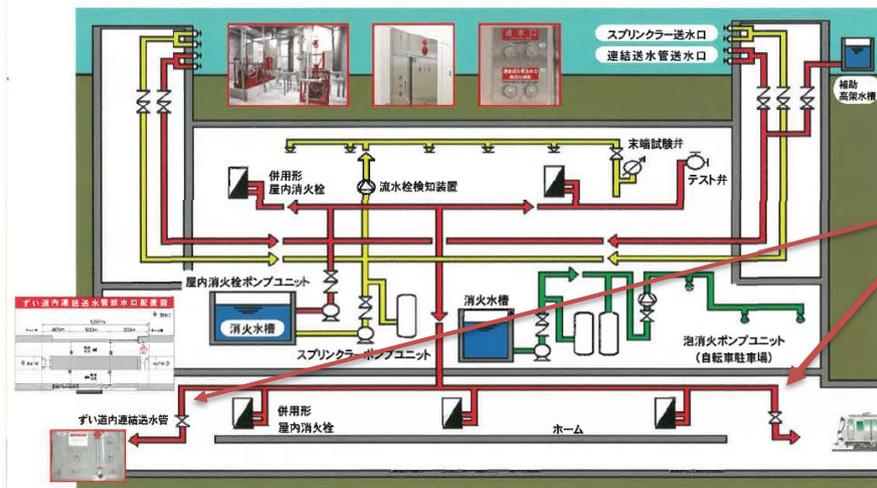
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設9 防災設備更新工事(連結送水管)(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されています。桜木町駅から高島町駅間において設置されている連結送水管は、平成13年10月に設置されており、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため改修工事に係る設計を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設10 ずい道換気送風機更新工事	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道（トンネル）内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により、絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事を行います。

		R2	R3	R4	備考
設 計	対象	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	高島町駅	※駅設置のずい道換気は整風口の更新検討を含む
	台数・総出力	4台・300kW	7台・200kW	8台・268kW	
	設計費	7,010	8,135		
工 事	対象	大江橋中間換気所	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	
	更新内容	全更新	部分更新	部分更新	
	工事費	111,865	100,161		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	100,161					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設11 ずい道換気送風機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道（トンネル）内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により、絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事を行います。

		R2	R3	R4	備考
設 計	対象	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	高島町駅	※駅設置のずい道換気は整風口の更新検討を含む
	台数・総出力	4台・300kW	7台・200kW	8台・268kW	
	設計費	7,010	8,135		
工 事	対象	大江橋中間換気所	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	
	更新内容	全更新	部分更新	部分更新	
	工事費	111,865	100,161		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	8,135					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設12 エアフィルター更新工事	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。エアフィルター設備は、設置から長期間、使用しつづけ、著しい汚れの付着による目詰まりが頻繁に発生し、捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機に負荷が係りモーター不良や捕集口の脱落故障につながり、都度修理を重ねている状況です。

現在、低下してきている捕集性能を改善し、良好な駅環境を維持するため、計画的な更新を行います。

		R2	R3	R4	備考
設 計	1号線	-			
	3号線	桜木町、下町、あざみ野			
	設計費	3,000			
工 事	1号線	踊場、弘明寺、長者町	-	-	
	3号線	-	桜木町、三ツ沢下町	あざみ野駅	
	工事費	32,120	27,083		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事 業 費	27,083					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設13 信号機器室系統空調機更新工事	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。三ツ沢上町、三ツ沢下町駅の機器室空調については、設置から15年以上を経過し、現在では能力が低下しており、十分な冷房効果が得られていません。また、片倉駅の運転事務室には列車運行に関わる通信設備が設置されており、機器を冷却するための空調機を2系統化して安全性を向上させます。

冷媒に特定フロンR22の代替としてR407Cが使用されている空調機について、故障が頻発しています。これらのことから、列車運行を支える機器室等の空調機について、駅単位での計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
弘明寺	平成12年	工事	工事		
高島町	平成4年	工事	工事		
三ツ沢上町(電気室)	昭和60年	工事	工事		
片倉町	新設			工事	
舞岡	平成14年				設計
三ツ沢上町	平成15年			設計	工事
三ツ沢下町(横浜方)	平成15年			設計	工事
設計		0	0		
工事		29,450	44,195		

実績

決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	48,000					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設14 信号機器室系統空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。三ツ沢上町、三ツ沢下町駅の機器室空調については、設置から15年以上を経過し、現在では能力が低下しており、十分な冷房効果が得られていません。また、片倉町駅の運転事務室には列車運行に関わる通信設備が設置されており、機器を冷却するための空調機を2系統化して安全性を向上させます。

冷媒に特定フロンR22の代替としてR407Cが使用されている空調機について、故障が頻発しています。これらのことから、列車運行を支える機器室等の空調機について、駅単位での計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
弘明寺	平成12年	工事	工事		
高島町	平成4年	工事	工事		
三ツ沢上町(電気室)	昭和60年	工事	工事		
片倉町	新設			工事	
舞岡	平成14年				設計
三ツ沢上町	平成15年			設計	工事
三ツ沢下町(横浜方)	平成15年			設計	工事
設計		0	0		
工事		29,450	44,195		

実績

決算見込

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設15 事務室系空調機更新工事	152,091

(1 事業目的・内容)

駅などの事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきました。このため、設置から15年以上を経過し、冷暖房能力が低下している空調機が点在しています。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。

さらに平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから施設単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上大岡 ※	平成7年	工事		
下永谷	平成13年	工事		
横浜駅(出札・仮眠室)	平成8年	工事		
新羽車両基地(主配電盤室)	平成6年	設計(R2・3)	工事	
新羽車両基地(電源室)	新規	設計(R2・3)	工事	
新羽車両基地(総合司令所)	平成14年	設計	工事	
新羽車両基地(データ集計室)	平成16年	設計(R2・3)		工事
上永谷車両基地(信号扱所)	平成12年	工事		
上永谷車両基地(検車区)	平成10年	設計(R2・3)	工事	
安全教育センター	平成12年	設計(R2・3)		工事
岸根公園	平成15年		設計	工事
センター南	平成4年		設計	工事
新羽・新羽乗管・上永谷保守管 ※			設計	工事
日吉本町	新規		工事	
設計費	—	10,332		
工事費	—	87,054	152,091	

※別予算にて計上

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

 有
 無

 有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総額
事業費	87,600	152,091				
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	4年度予算額
設16 事務室系空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅などの事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきました。このため、設置から15年以上を経過し、冷暖房能力が低下している空調機が点在しています。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。

さらに平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから施設単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上大岡 ※	平成7年	工事		
下永谷	平成13年	工事		
横浜駅(出札・仮眠室)	平成8年	工事		
新羽車両基地(主配電盤室)	平成6年	設計(R2・3)	工事	
新羽車両基地(電源室)	新規	設計(R2・3)	工事	
新羽車両基地(総合司令所)	平成14年	設計	工事	
新羽車両基地(データ集計室)	平成16年	設計(R2・3)		工事
上永谷車両基地(信号扱所)	平成12年	工事		
上永谷車両基地(検車区)	平成10年	設計(R2・3)	工事	
安全教育センター	平成12年	設計(R2・3)		工事
岸根公園	平成15年		設計	工事
センター南	平成4年		設計	工事
新羽・新羽乗管・上永谷保守管 ※			設計	工事
日吉本町	新規		工事	
設計費	—	10,332		
工事費	—	87,054	152,091	

※別予算にて計上

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費	4,136					
債務負担設定						

令和4年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、大熊、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	4年度予算額
設17 新羽駅浸水対策衛生設備改修工事	
(1 事業目的・内容)	
<p>新羽駅の地上部に設置している汚水・雑排水樹等の衛生設備には浸水対策がされていません。万が一下水管が満水状態になった場合には、樹や配管を通じて逆流し、手洗所等の排水口から下水が室内に浸入し、浸水した際には汚水管や雑排水管から逆流してきます。</p> <p>よって、急激な集中豪雨や津波に備えた浸水対策として、汚水樹や雑排水樹に逆流防止弁等を設置する衛生設備改修工事を実施します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和4年度 総係費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出項: 01 建設改良費 目: 01 建設費	所属: 技術管理部、工務部各課 担当者名: 経営管理部 経営管理課

(単位:千円)

	4年度 A	3年度 B	増△減 A - B
予算額	38,151	49,563	△ 11,412

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

細節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
40 修繕費	10	什器修理
49 備用品費	1,372	事務用品、現場作業用備品、書籍等
50 被服費	5,062	新規採用者、転入・異動者等への制服貸与
51 光熱水費	30	電気・水道料金
56 旅費	7,267	市内・市外出張旅費、検査出張旅費等
57 通信運搬費	23	電話料金・LAN回線使用料等
60 負担金	6,675	協議会等年会費、土木積算システム負担金等
61 会議費	135	会議飲料代等
63 委託料	11,433	メール便委託等
64 手数料	2,656	鉄道設計技士試験受験料、各種技能講習会受講料等
65 賃借料	2,273	堂繕積算システム利用料、会議室利用料等
66 諸謝金	20	学識経験者意見聴取諸謝金
96 雑費	1,195	タクシー借上げ代、沿道補償費等
合 計	38,151	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)